

品川支部

令和八年3月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel. 3442-7075

3月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

百四十年祭の年イベント まずは学生を中心に

一月二十六日十二万人の参拝者を集めた教祖百四十年祭祭典の号砲から、この一年、各会派によるイベントが予定されています。今月は「教祖140年祭 学生おぢぼがえり大会」と大会として催されます。

春休みに仲間を誘っておぢぼがえりです。なかなか腰が重く参加をためらっている方達も、大勢の教友の姿を見るとうれしく元気になりますよ。取りあえず行ってみましょう。



☆支部行事のお知らせ

- ・支部例会三月三十日(月)
会場 鶴平分教会（詳細は二頁参照）
- ・幹事会三月九日(月)
都南分教会にて 六時から
続けてひのきしん
- ・大井在宅介護センター
今月は三月二十七日です
神名流し

☆教務支庁からのお知らせ

- ・少年会から
第五十二回「鼓笛バンドコンクール」は
三月八日「ひの煉瓦ホール」で行われます
日頃の少年会員の頑張りをご覧下さい
- ・学生担当委員会から
「教祖百四十年祭 学生おぢぼがえり大会」
教区では二十六日三時に教区集合で翌日団
参で出発致します。是非参加願います
- ・教務部から
法人実務研修会の開催（三月四日一時）
講師 都庁管理法人課宗教法人総括担当
東 正洋氏（大講堂）にて
どなたでも参加して頂きます

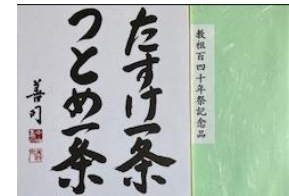
・天理大秀長関連の書状発見

天理大で今回大河ドラマ豊臣兄弟の秀吉の弟秀長が郡山城に入り大和国の統治を示す千五百八十五年書状が先月十六日に発見されたと発表。書状は秀長の有力な家臣横浜良慶が興福寺の僧侶武士に送ったもので伝統の祭りをを行うようにといった内容が武力だけで無く宗教等地元行事等を取り込んだ権力を納める統治方法がわかる資料として新聞各紙に掲載されました。



ご招宴

真柱さまにより、三年千日の教友へ、労いとして招宴を頂き八千以上の教友長等が参加させて頂きました。各教会には上絵記念品のご揮毫を頂戴いたしました。



拠点教会	4日号	11日号	18日号	25日号
日本橋	休刊	手配り	手配り	手配り
本荏	休刊	手配り	手配り	手配り
南泰	休刊	直送	直送	直送
三ツ木	休刊	直送	直送	直送
水豊田	休刊	直送	手配り	直送

時報手配り三月予定

千支



本年一月二十六日教祖百四十年祭が盛大に勤められた。年祭に至る四年前、真柱様より『諭達第四号』が發布され、三年千日のような多くの通り方をお示し下された。又最後に「この道にお引き寄せ頂く道の子一同が、教祖の年祭を成人の節目として、世界たすけの歩みを一手一つに力強く推しすすめ、ご存命でお働き下さる教祖にご安心頂き、お喜び頂きたい」とお諭し下された。

年祭後の講社祭で、某さん宅の話。
「うちの息子の嫁は年上で気が強い。嫁は今年六十歳の還暦。丙午だから……。」
女性も千支・血液型等が気になるようだ。

丙午に限っては、江戸時代から令和の現代も迷信が根強く、科学的にも根拠は乏しい。

翌週の他の某さん宅講社祭にても
「会長さん、そろそろ『おびや許』の手続きをお願いします。」
長男が誕生して、もう一人子供がご守護願いたいと思っていたら、年祭三年千日の期間にもう一人次男が誕生して嬉しく思っていた処、又々子が懐妊したんです。嬉しいのですが、もし女の子でしたら……。」

そこで私は『教祖伝逸話篇』を改めて読み聞かせて頂きました。

一七三、皆、吉日やで
教祖は、高井直吉に、
「不足に思う日はない。皆、吉日やで。世界では、縁談や棟上げなどには日を選ぶが、皆の心の勇日が、一番吉日やで。」と教えられた。

品川支部例会

令和八年3月30日 (月)

11時開始

場所 鶴平分教会

(品川区西大井二丁目12の6)

内容 おつとめよろづよ八首三下り

東京教区、支部連絡事項

当該教会 平林会長挨拶

昼食の用意あり

*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



一日 はじまる
二日 たっぷり
三日 身につく
四日 仕合わせ
ようなる

中略
三十日は一月、十二月は一年、一年中一日も悪い日はない。
と、ひながたの中に拝察できる。

皆、よふぼく家庭の一人々々が教祖のひながたを懸命に辿っているが、今一度信仰信念の確立を、成人の歩みと共に原点に勤しんでもらい、誓い合わせて頂きました。

さあ、この年祭を糧に更には今日にいたる長年の丹精を思い起こして、次の塚に向かつて歩ませて頂きたいと存じます。

鶴平分教会会長
平林典道



百四十年祭当日 教祖殿に向けて